

追加在庫

A5052B-H112

360 φ迄

A5056B-H112

360 φ迄

A5083B-O

360 φ迄

A2017B-T4

360 φ迄

A6061B-T6

360 φ迄

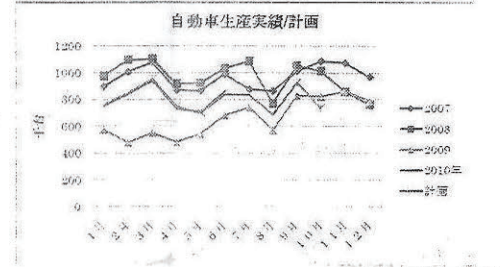
常時在庫品揃え
寸法切・定尺共

大河内金属株式会社

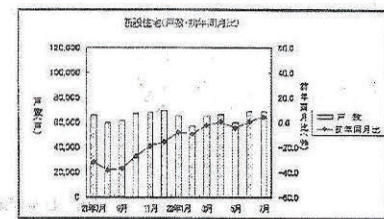
尼崎事業所 尼崎市鶴町7番25号
〒660 TEL(06)6411-6852 番
-0092 FAX(06)6411-6241 番
神奈川営業所 横浜市中区山下町194
外丸ビル9F
〒231 TEL(045)663-3611 番
-0023 FAX(045)663-2770 番

日刊金属レポート

	5月	6月	7月
生産台数	70万8453台	86万1045台	86万6762台
前月比	-3.2%	+21.5%	+0.6%
前年同期	+11.8%	+27.2%	+8.5%
◆計画台数			
	8月	9月	10月
計画台数	68万8700台	92万8400台	73万8千台
前月比	-17.5%	+34.3%	-20.5%
自動車生産台数推移			



	5月	6月	7月
日本新設住宅着工数	5万9911戸	6万8688戸	6万3755戸
前月比	-10%	+14.7%	+0.1%
前年同期	-5.1%	+8.7%	-3.4%
新設住宅着工率推移			



出典 国土交通省 統計

戸数であった(前年同期三・四%減)。

(二面へ続く)

◆新設住宅着工戸数

国土交通省発表の新設住宅着工戸数は前月比〇・一%増の六万八、七八五

万六、七六二台。

◆自動車生産台数

日本自動車工業会発表によると自動車生産台数は前月比〇・六%増の八六

万六、七六二台。

【七月の経済指標】

後半、米・英の経済見通しの下方修正や住宅指数の悪化を受け米景気後退

懸念が台頭する中、LME銅も七、〇〇〇ドル近辺まで下落するも、欧州圏

の第二クォーターの経済指数を好感する形でのユーロ高ドル安、WBS発

表の一、六月期の世界銅需要で八万トンの供給不足の報を受け、テクニカル

買いが殺到、八月三十日現在七、三九〇ドル、建値六四万から六八万へ九月

は大幅上昇予定。

輸電銅、スクラップが二四・七%増

橋本健一郎氏

橋本金属 アルミ

【概況】八月前半、米国のISM指数(製造業景

況感指数)の悪化や中古住宅販売成約指数の大幅下

落を受けてセンチメントが悪化するも、ドイツの五

月の小売売上高が〇・四%から三%の大幅上方修正

されたことを好感、欧州懸念が後退しLME銅も

七、四〇〇ドルと大幅上昇となった。



橋本健一郎氏

輸電銅、スクラップが二四・七%増

輸電銅、スクラップが二四・七%増

株式会社 日刊金属新聞社

発行人 小林恒甫

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7

電話(06)6932-5443 代表

北陸支社 富山市曙町1-30-508号内

電話(076)444-6836

購読料 半年44,100円(前納) 3ヵ月22,050円

銅・銅合金スクラップ相場下落も

ELM 銅 下値七、〇〇〇ドルを予測

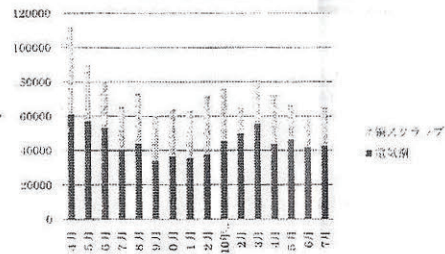
(二面より続く)

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によれば、輸出は電気銅が四万二、七二五トン(前月比二・三%増)、スクラップは二万二、五七・トン(前月比二四・七%増)。

	5月	6月	7月
輸出			
電気銅	1万6296t	1万1773t	4万2725t
前月比	+5.6%	-9.8%	+2.3%
スクラップ	2万456t	1万8103t	2万2571t
前月比	-27.8%	-11.5%	+24.7%
輸出推移			

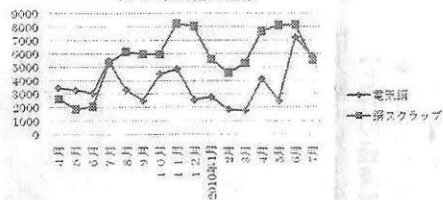
09-10年銅輸出推移



輸入は電気銅が五、八二六トン(前月比一・五%減)、スクラップが五、五〇七トン(前月比三二・三%減)。

	5月	6月	7月
輸入			
電気銅	2468t	7233t	6826t
前月比	-40.18%	+93.1%	-19.5%
スクラップ	8108t	8145t	5507t
前月比	+6%	+0.5%	-32.3%
輸入推移			

09-10年銅輸入推移

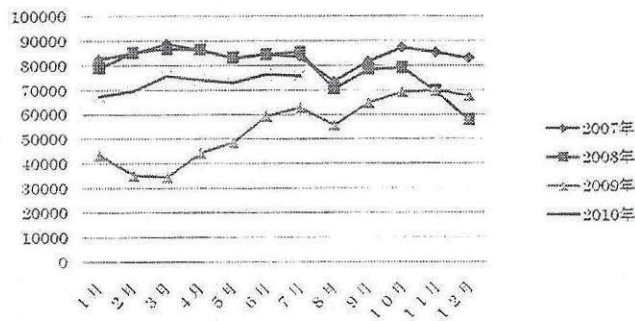


出典 財務省 貿易統計

【七月の国内指標】

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前月比〇・六%減の七万五、九二〇トン(前年同期五・七%増)。

伸銅品生産推移



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前月比五・四%増の五万九、七〇〇トンであった(前年同期八・六%増)。(日本電線工業会の統計は第六面に掲載)

【見通し】

七月は伸銅品生産が前月比でついに三カ月ぶり下落。自動車生産も前月比で〇・六%増の八六万台と伸び悩み。

銅電線出荷量は前月比五・四%増の五万九、七〇〇トンと唯一健闘。

新設住宅着工数も前月比〇・一%増の六万八、〇〇〇戸台と伸び悩み。

銅原料に関しては、銅建値が六八、七〇万円程度で推移したため、生産回復した四月分の原料が夏季休業前のリスク売りから放出され、改善したと考えられる。銅原料全体では十月の自動車生産が前月比で二〇%減との計画を受け供給過剰気味。

価格は銅建値ベースの銅・合金スクラップは景気対策息切れによる米景気後退、円高による日本経済下振れ懸念、などを受けてELMEに関しては下値七、〇〇〇ドル、上値七、二〇〇ドル。銅・銅合金スクラップに関して、銅建値で六三万円程度と予測している。